

メール無害化ソリューション 導入事例 杉並区様

総務省が提示する「自治体情報システム強靭性向上モデル」への対応で必要となる
メール無害化をアプライアンスサーバ1台で実現

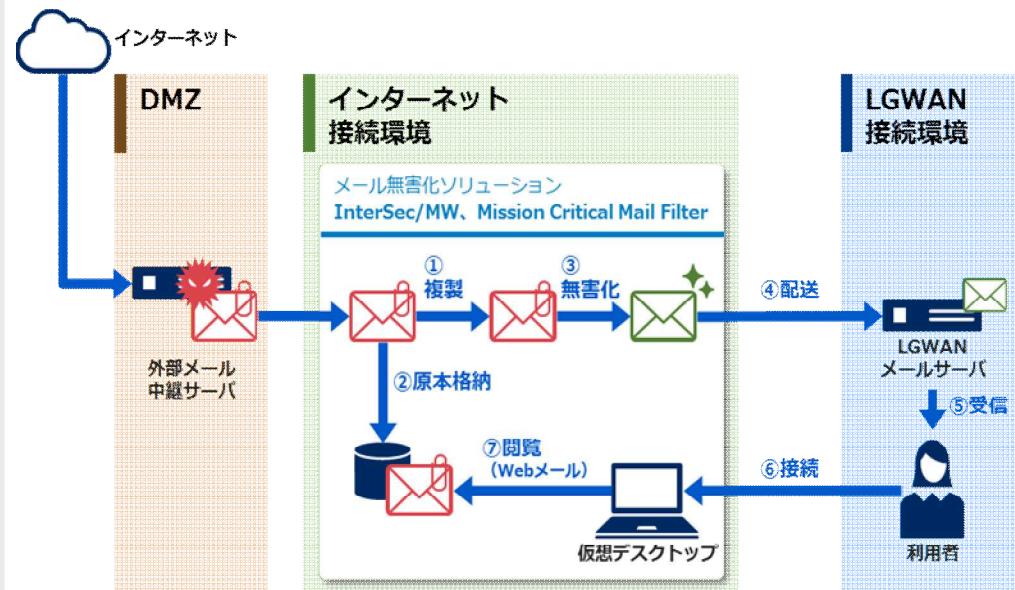
導入背景

- 総務省が提示する「自治体情報システム強靭性向上モデル」への対応として、インターネット環境とLGWAN環境の分割が必要であったが、利用者の利便性を考慮するとインターネット経由で受信したメールをLGWAN環境に取り込む必要があった

導入メリット

- 総務省要件に準拠したメール無害化環境により標的型攻撃メールの無効化を実現
 - インターネット経由で受信したメールについて、無害化（添付ファイルの削除やHTMLメールのテキスト化）を実施し、LGWAN環境に配送すること LGWAN環境内のマルウェア感染を防止
 - 利用者はLGWAN環境で無害化後のインターネット経由のメールを閲覧出来る為、業務への影響を最低限に抑える事が可能
- アプライアンスサーバにより容易な運用を実現
 - メール無害化、原本メール保管、原本メールを確認する為のWebメール機能を、1台のサーバに集約したアプライアンスサーバの為、簡易なシステム構成を実現し容易な運用が可能

システムイメージ



【メール受信の流れ】

- ① インターネットから受信したメールを複製
- ② 原本メールを保管
- ③ メールの無害化(添付ファイル・html削除)を実行
- ④ 無害化済みのテキストメールをLGWANセグメントのメールサーバに配達
- ⑤ 利用者は無害化後のメールを受信

【原本メールの閲覧の流れ】

- ⑥ インターネット環境用の仮想デスクトップに接続
- ⑦ Webメールを利用して原本メールを閲覧